

# 賛八会活動

2014.09.11 「会員秋の集い」 恩師の先生方を招き賛八会「会員秋の集い」を行いました。

平成 26 年度 賛八会「会員の秋の集い」の事業報告

担当 事業部会

日時：平成 26 年 9 月 11 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 30 分

場所：堂島ホテル 4 階バックスの間

参加者：恩師(7 名)、役員、会員 総数 43 名

賛八会事業活動の一環として、今回初めて恩師を囲んで会員相互の懇親を深める目的で「会員の秋の集い」を堂島ホテルにて開催した。

当日は、総数 43 名中、1 期生から 35 期生の方で初参加者 22 名という、これまでにない盛況の中で会が進行した。

まず初に、近畿大学建築学部同窓会卒業生部会(賛八会)西邦弘会長の挨拶、その中で設立の趣旨や事業概要を説明され、特に「次回は会員 80 名の参加を目指して取り組み、将来は全国から会員が集まりバスを連ねて旅行する。」と決意を熱く語られた。

次に、出席の恩師の先生方、**池田静治様、窪田敏行様、上野隆敏様、石川康介様、梶井宏修様、小野英道様、幸田稔様**の紹介、代表して池田静治先生にご挨拶を頂いた。その中で、特に印象深い話として「賛八会の[賛]の文字には、人々が通じ合うために必要な要因である[助け合う][賛同する][ほめる][批判する]と云う 4 つの意味があり、これがその道を開くためのキーワード[賛]であるとして故芦田先生は名付けられた」と教えられた。

次に、役員・常任幹事・幹事の紹介、そして、当会の顧問、西浦重明様より乾杯のご発声を頂いた。その中で人生の教訓として「故須賀先生から社会人の心得として 1. 社会で話題になっていることに常に注意を払うこと。2.言われた通りに実行するのではなく自分で考えたものを加えて物事に取り組むこと。」を実行して今日の自分があることを話された。

次に、皆楽しく歓談する中で、参加者全員の自己紹介があり、余興としてテーブルトークを今回初めて実施した。演題は「私だけが知っていること」を各テーブルでリーダーを決め用紙に記入しリーダーから指名された者が情報を発表するというゲームを行った。皆秘密の場所を紹介して会場は大いに盛り上がった。それから、お土産を恩師の先生方全員、役員と会員には抽選にてお渡ししたので更に会場は盛り上がった。

最後に、浅田行則副会長が閉会の挨拶を述べられ、司会者深見邦夫事業部会主査の 1 本締めで閉会した。会場をボンドの間に移して、出席者全員の記念写真を撮影して散会した。



賛八会 記念 集合写真